

「学級活動(2)(3)」の指導案参考例

学級活動指導案(小学校の例)

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

令和〇年〇月〇日(〇)第〇校時

第〇学年〇組(〇名) 指導者 〇〇 〇〇

「題材名」ではなく、「題材」と記述する。

年間指導計画を基に、題材を設定します。その題材がどの内容なのかを明記します。(2)はア～エです。

1 題材 「バランスのよい食事」

学級活動(2)エ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成



2 評価規準と目指す児童の姿

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。
育成を目指す資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 〇 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。 〇 自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができるようにする。 〇 自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする態度を養う。 		

- 〇 児童が題材を自己の課題として真剣に捉え、具体的な実践目標や方法などを意思決定できるように展開を工夫します。
- 〇 この題材を通して身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、教師の願いや指導観等について記述します。
- 〇 ティーム・ティーチングの場合には、指導する上でのそれぞれの役割を明確にするために、指導案の中でもT1、T2の役割を明確に示すようにします。
- 〇 指導の効果を上げるために、内容に応じて次のような人材の活用を考えて、指導計画を作成するようにします。
(例) 養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、司書教諭、学校図書館司書 など。

3 題材について

(1) 児童の実態

- 〇 児童の学級生活における実態や、これまでの学級活動における指導の経緯等について記述する。



(2) 題材設定の理由

- 〇 学習指導要領解説、特別活動編「学級活動」の内容を踏まえて、取り上げる題材の内容、今までに取り組んできたこととの関連、その題材を取り上げる意義、題材と児童との関係などについて記述する。

(3) 指導観

- 題材のねらいや児童の実態を踏まえながら、ねらいを達成するための指導や支援の手立てなどについて、指導の流れに沿って具体的に記述する。
- 題材やねらい、活動に応じて、教材・教具、資料の選択、グループ活動や事前・本時・事後の活動、調べる活動、様々な表現の場づくりなどを具体的に示すよう記述する。
- 該当学年の評価規準から、話し合い活動における課題や目指す方向性などを記述する。

4 学校課題(研究主題)との関連

- 学校課題と関連がある場合は、学校課題に迫るための授業の組立てや指導の重点、具体的な手立てなどを議題レベルでまとめる。

5 人権教育の視点

- 本時のねらいや学習内容、指導方法と「育てたい資質・能力等」との関わりを記述する。

6 生かしたい児童

- 本時の中で生かしたい児童を設定し、授業において意図的に支援する。

7 活動及び指導と評価の計画

日時（朝の会や帰りの会など）や活動形態（全員の活動や計画委員の活動など）について記述する。

以下のような「題材の提示」から「振り返り」までの活動内容について記述する。

児童が左の活動を行う上で、教師が何をどのように工夫したり、配慮したりするか等を記述する。

評価規準に即して、本時の展開における「目指す児童の姿」を示しておく。

	日時【活動形態】	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
事前	○/○(○) (朝の会) 【計画委員】	・アンケートや残菜調査の結果をまとめる。 ・自分の食事の問題について、考えておく。	・題材について事前に予告し、関心をもって生活をさせ問題意識を高めしておく。 ・学級の児童の問題等について、家庭に通知し協力を依頼しておく。	【思考・判断・表現】 ・アンケートを記入し、これまでの給食の食べ方などについて考えることができている。 〔観察、アンケート〕
本時	○/○(○)~ 【学級全員】	「本時の活動」参照	「本時の活動」参照	【知識・技能】 ・自分の体の健康と野菜に含まれる栄養との関わりについて理解している。 (発言・学習カード) 【思考・判断・表現】 ・自分の課題に合った具体的なめあてや食べ方を決めている。 (実践カード、観察、発言)
事後	○/○(○)~ 【学級全員】	・自分の立てためあてや取組などについて振り返る。 ・友達同士で取組を確認し合う。	・給食のよいところや、給食のよりよい食べ方について考えるように知らせる。 ・帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いのがんばりを励まし合うことにより、実践の継続を図るようになる。	【主体的に取り組む態度】 ・友達の意見を参考にしながら、よりよい生活になるように考えて立てた具体的なめあてや実践方法に、進んで取り組もうとしている。 (めあてカード・観察)

○ 例えば、事前に【思考・判断・表現】を、本時は【知識・技能】【思考・判断・表現】を、事後で【主体的に取り組む態度】に重点を置くなども考えられる。

8 本時の活動

(1) 本時のねらい

○自他との関わりの中で、個人の在り方を意思決定できるようにするための「指導のねらい」を記述します。



(2) 本時の展開

段階	学習活動	時間	形態	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法	資料
導入 つかむ	<p>1 好きな食べ物や嫌いな食べ物のアンケート結果から自分の食生活を振り返る。</p> <p>2 上記の課題に対する自分の食事についての問題点を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【めあて】 バランスのよい食事について考えよう</p> </div>			<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果などは、表やグラフで視覚化し、「バランスのよい食べ方でないことが多い」という問題点を共有化し、一人一人が自分の問題として捉えられるようにする。 昨日の残菜の写真から、「これは何とかしなければならぬ」と自分の問題として実感できるよう支援する。 <p>【発問の例】 「写真の残菜は野菜が多いね。嫌いな食品もあるようだね。でも、どうして嫌いな食品を食べることが大切なのかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題点が分からない児童には、自分の食生活と比べられるよう説明する。 	<p>○評価規準に即して、本時における「目指す児童の姿」を示す。</p> <p>○「目指す児童の姿」は、本時のねらいに応じて、一つないし二つ程度設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○児童が学習活動を行う上で、資料の活用や活動の場づくり、グループでの話し合い、ティーム・ティーチングの実施、ゲストティーチャーの活用、体験談を聞くなど、工夫をする点について指導者の立場で記述する。</p> </div>	○グラフ、アンケート調査や実態調査の結果、映像など
展開 さぐる 見つける	<p>3 T2 の話を聞き、各自の課題について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○T2の説明は、課題が解決できるよう、効果的な資料を利用し、ポイントを絞って説明する。</p> </div> <p>4 グループに分かれて、課題の解決方法などについて話し合い、自分の考えを広げる。</p>			<ul style="list-style-type: none"> T2 の話から、自分の課題について自覚させ、解決の糸口を探るよう支援する。また、残菜から食事のバランスが悪いことに気付かせ、問題の重要性を理解させたり解決の意欲を高めたりする。 「学校給食を生きた教材」として活用する。 自分の課題解決につながるよう発問を工夫する。 <p>【発問の例】 「(今日の給食に関係した食品の働きの説明をT2から聞いて)『赤と黄と緑の食品』をバランスよく食べるには、どうしたらよいだろう？」</p> <p>◎課題の対応策について友達の意見を聞き、多角的に考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 解決方法が多く出し合えるような話し合いになるよう支援する。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事の課題の解決方法について考えている。 <p>〔観察〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【キーワード】 集団での話し合いを通じた意思決定</p> </div>	○科学的な資料、実物、道具、写真、映像など ○図版、絵、写真など ○学習カードなど
終末 決める	<p>5 自分の課題に合った「努力すること」を決める。</p> <p>6 本時を振り返り、カードに記入する。また、互いに自分の努力することを発表し合う。</p> <p>7 教師のまとめの話を聞く。</p>			<ul style="list-style-type: none"> 自分が解決するための目標や手立てなどを、「いつ、どこで、何を、どのようにするのか」を意思決定できるように支援する。 友達の目標や決意などについても聞き、互いに関心をもって努力できるようにする。 <p>・事後につながるまとめをする。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題に合った実行可能な取組や方法などを決めている。 <p>〔観察・意思決定カード〕</p>	○意思決定カードやがんばりカードなど